

令和5年度 第3回君津地区公民館運営審議会 会議録

開催日時 令和5年12月12日（火曜日）午後2時30分から午後4時30分まで

開催場所 周西公民館 多目的ホール（分散協議：多目的ホール、会議室1、会議室3）

議題等

- 1 主催事業の進捗状況について
- 2 君津地区における地域活性化・地域課題の解決に資する社会教育機関としての公民館のあり方について～周西地区の現状と課題について～

出席委員 河野清治、福島義人、増田久美子、齊藤早苗、原園康寛
後藤吉郎、廣部辰也、大友みどり、吉田俊一、圓川昭浩、吉原吉一

欠席委員 佐々木睦

出席職員 君津中央公民館 平野館長・布施副主幹・唐鎌公民館主事
八重原公民館 山口館長・新井副館長・矢代主任主事
周西公民館 鈴木館長・笹本副館長・三枝副主査
周南公民館 竹内館長・飯泉副館長

公開または非公開の別

公開 ・ 非公開

傍聴者 なし（定員 6名）

1 開会（進行 八重原公民館 新井副館長）

2 委員長あいさつ

3 周西公民館長あいさつ

4 報告

河野委員長

次第の4協議（1）「主要事業の進捗状況について」君津中央公民館、八重原公民館、周西公民館、周南公民館の順に説明をお願いします。すべての館の説明が終わりましたら、ご意見、ご質問等を中心にお受けしたいと思います。それでは、お願いいたします。

唐鎌公民館主事

※別紙資料に基づき説明

矢代主任主事

※別紙資料に基づき説明

笹本副館長

※別紙資料に基づき説明

飯泉副館長

※別紙資料に基づき説明

河野委員長

今、4館の説明がありました。各館多種、色々な取り組みをされています。ここで、委員の皆様からご質問等ありましたらお受けしたいと思います。地区と名前を言ってからご発言お願いします。

圓川委員

いろいろな進捗状況等を伺う機会としてこの場があったと思いますけれども、コロナが明けて、いろいろ活性化されてきているな、という印象を受けた中で、成功事例とか、こういう取り組みがあった、というのがもっと分かりやすいといいなと思いました。今、文章で書いていただいている資料が手元にあります、日付だけのものとか、概要があるものがあったり、参加人数が入っているものがあったり、一個一個全部見ていかないと、全体的にどうだったかというのが見えにくいのかな、と思います。民間で言うと企画書のような、タイトルがあって、日にちがあって、結果があって、というのが、一覧になって、統一したフォーマットになっていると、これは入館数が多かったとか、これはどういう対象を狙ったとか、そういうのがわかりやすくなっていると、他の地域でもできるのか、とか、この時はどうだったか、といった後から結果の推移が見れるとか、そういう形が、さらにお互いの館の事例を参考にしながら進めていけるような形ができるのかなと感じたので述べさせていただきました。

河野委員長

ありがとうございます。これについて事務局、答えられますか。

新井副館長

貴重なご意見ありがとうございます。各館で資料をまとめていく中で、全体では大きなくりの3つのテーマに沿っているんですけども、館や担当職員の作りこみ方の違いが出ていて、同じ形のところにしてくれと言っても、これだけ違うものが出てくるのだなと感じたところです。今後この形を変えないという事ではありませんので、今後また研究をしていければと思います。ありがとうございます。

圓川委員

補足ですが、例えばデジタル化というところもあれば、過去10年間の検索もキーワードとかカテゴリとかに絞れたらという事ができれば、さらに効果的なものが出るのではないかなと思います。あと写真や動画などが入っているとちょっとわかりやすいものになると思いますので、併せてお願いできたらと思います。

新井副館長

職員だけではなかなかできない部分もありますので、詳しい方にご相談しながらよりよいやり方を模索していきたいと思います。ありがとうございます。

河野委員長

ありがとうございます。ほかにございますか。

斎藤委員

君津中央公民館の特別企画の「ご近所縁日」はとても参加者が多いと報告されていますね。どういふことをやって、どういう風になったか教えて頂ければと思います。

布施副主幹

ご近所縁日ですけれども、779名+ボランティア50名という方ですが、皆地域の方です。11月2日木曜日夕方2時間半の企画でした。この時間帯に、779名の参加と、支えて下さるスタッフが50名、この内の半分が中学生・高校生、残り半分が大人たちという内訳でした。この特別企画のご近所縁日ですけれども、コロナ禍かで中止になっていた文化祭、オンラインで実施した年もあったんですけれども、その中で、地域の人と人とのつながり、どの館も肌感覚で実感しているところなんですけれども、君津中央公民館についても、それまで150あったサークルが、110団体まで減ってしまったんですね。そういった中で、地域の人とのつながりを取り戻そうという事で企画したものです。去年はウルトラクイズ大会をオンラインを交えて行ったんですけれども、今年度はせっかく集まることができるようになったという事で、人と人との縁を取り戻す、という事で縁日としました。内容と致しましては、ミニ屋台、これは小学生中学生のボランティアたちが、自分で出したいお店をやるわけですが、型抜きですとか、そういったものを自分たちで作り上げる。また、舞台を使いまして、地域に大きな神社がいくつかあるんですけれども、お囃子をやっているんですね、それぞれに。そちらにご協力いただいて、地域にこういうお祭りがあるんだ、地域に伝統文化を受け継いでくれる人がいるんだという事を紹介したいと思ひまして、ホールを使いましてお囃子の実演を行いました。売り上げはすべて社会福祉協議会のチャリティーに寄付させていただいたのと、あとフードバンクも行いました。反省課題としては、2階のホールを使ったんですけれども、人が多すぎてごった返してしまったというところがありました。これはうれしい悲鳴でしたが、そのような形で行いました。

斎藤委員

ありがとうございます。

河野委員長

ありがとうございます。その様子は館報に載ったり、写真とか、後日出たりするんですかね。

布施副課長

館報の1月号に掲載される予定です。当館ロビーにも、地域のお祭り情報ですとか、当日のチャリティーの様子なども報告として掲示してありますので、もしよろしければご覧ください。また、館報もよろしければご覧ください。

河野委員長

ほかになければ次の議題に移りたいと思いますがよろしいでしょうか。

それでは、議題の4協議(2)君津地区における地域活性化・地域課題の解決に資する社会教育機関としての公民館のあり方について～周西地区の現状と課題について～を協議と致します。進め方としては、前回同様、当該館から説明を受け、その後、3つのグループに分けて協議を行います。では、周西公民館より説明をお願いします。

三枝副主査

※別紙資料に基づき説明

河野委員長

ただいま、周西公民館から、現状と課題点について資料を基に詳しく説明していただきました。他の地区と全然違うのが、20代の方が多くいるというのが他地区とは全然違うという感じを受けました。このあと、会場を分かれて協議を頂きます。事実確認の質問のみ受けたいと思いますが、なにかございましたらお願いします。よろしいですか。それでは、分散協議に入りますので、事務局より説明願います。

新井副館長

それで、お配りしました用紙に沿って協議会場に分かれて頂きたいと思います。第1グループは多目的ホールに残っていただきまして、第2グループは会議室1・2の部屋、第3グループは会議室3へそれぞれ移動をしていただければと思います。各グループで小休憩なども入れて頂きながら、16時5分を目途に協議を終了していただきまして、またこちらに戻ってきていただきたいと思います。あまり長い時間というわけにはいかないですけれども、分散協議の内容は全体で共有したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

河野委員長

ありがとうございました。それでは移動の方をよろしく願いいたします。

----分散協議----

河野委員長

みなさん、分散協議お疲れ様でした。それぞれ、協議内容を第1グループから順に各二分程度で報

告をお願いします。

矢代主任主事

※グループ1〔竹内館長、飯泉副館長、矢代主任主事、河野委員長、福島副委員長、廣部委員、圓川委員〕について報告

第1グループです。まず、20代の方が多いのはうらやましいというのがあるんですけども、皆さん仕事の都合で来られている方が多いのでは、というところで、周西に定着しない可能性が高いのではないか、という話が出ました。なので、そういった人たちが周西に住み続けてもらえるような、そんな取り組みが公民館でできるといいのかなという意見が出ました。また、20代以下を見ると0～10歳代が少ないため今後どうなるか、といった話と、あとは、自治会の担い手が高齢化しているので、横の繋がりを作るというところで、公民館が役割を果たしていくという話が出ました。あとは、公民館として何をしていけるかは政策的な部分もあるので難しいかもしれないが、自治会の横のつながりを作っていくというところで、その人たちが自治会活動を強化していくところで、何か新しい取り組みを作っていければいいのではという話がありました。まだ聞き足りないところ、わからないところがあるので、継続して調べてほしいという意見が出ました。

河野委員長

ありがとうございます。続いて、第2グループをお願いします。

唐鎌公民館主事

※グループ2〔平野館長、鈴木館長、新井副館長、唐鎌公民館主事、吉田委員、大友委員、原園委員〕について報告

第2グループから報告します。課題として挙がってきたのがやはり若い世代をどのようにとりこんでいくかというところと、それから自治会同士の横の繋がりをどうするかが大きく2点あったと思います。それに対しての具体的なアドバイスのようなところでいろいろなアイディアが出てきていて、若い世代をお客様にするようなものではなく担い手になってくれるような、何か若い人たちが自分たちで作り上げられるような、誰かを楽しませるような、若い人たちが主催者になっていけるような取り組みが良いのではないかと意見が出ました。また、一度取り込んだ人は離さないようにして、継続して関わってもらえるような取り組みが良いのではないかと話も出ましたし、中高生はショートムービーを作るのが得意な方が多いので、ショートムービーの選手権などをやっても良いのではないかと意見もありました。それこそ自治会の宣伝動画などを作ってくれないかな、という意見もありました。それから、自治会の横の繋がりについてなんですけれども、自治会同士の防災に関する情報交換ですとか、日常的に自治会でやっている行事に関する情報交換会のような場を公民館で作れるとよいのではないかな、といった意見がありました。助け合いの繋がり作りがキーワードになるのではないかと意見もありました。ちょうどこの週末に防災に関する取り組みも予定されていて、今後は楽しみですという意見もありました。それからですね、公民館を知らない方だったり、一人では来られないという方のために、出向く事業、というのもキーワードに上がってきていまして、なかなか実現のためには、職員が足りなかったり、という事があるということで、君津地区の公民館が連携して交代で出向く、というようなこともいいんじゃないかという意見もありました。それこそ自治会と協力した企画があってもいいのではないかと意見がありました。出向く事業という私たち

は自治会館とか青年館を思い浮かべてしまうのですけれども、公園などの外で、桜の時期だったり、焼き芋の時期だったり、オープンなスペースで、飛び入り参加ができるもの、何をやっているかわかるような事業もいいのではないかという意見もありました。それから、若い人たちが何に興味を持っているのか、何に困っているか、地域の良さ、まずは若者と話をしていく、という事業もやってみてはどうか、という話が出ました。

河野委員長

ありがとうございます。続いて、第3グループお願いします。

布施副主幹

※グループ3〔山口館長、布施副主幹、笹本副館長、吉原委員、後藤委員、増田委員、斎藤委員〕について報告

第3グループでは、今日の三枝さんの報告についての感想、それからその後、この周西の状況がどのような課題を持っているのか、といった観点、この2点の方向で話を進めました。例えば、感想の中からは、サークル数の減少について、あるいは若者とのかかわりについての現状についての工夫点ですとか、今後もう少しアプローチが必要ではないかといった観点でのご意見もあったんですけども、一方で、地域の課題とははたして何だろうか、という方向でも話を進めました。ここは一番の海岸に近いエリアで、市街地だという事、そして、製鉄所の進出により新旧の住民の方が、50年経っているとはいえ、混ざっている地域という特性、また自治会の加入率が今だいたい60%を切っているといった状況、そういった現状から、さて、では、この周西公民館がどのような点で役立つことができるのか、今後少し整理していく必要があるのではといった観点で話を進めました。現在周西公民館の副館長は、関わるのが色々難しい点はあるが色々努力されているというような話もあって、例えば1小学校1中学校1高校ありますので、連携を密にとったり、市街地でありながら自治会とのつながりを大切にしたいといったような観点での報告もありました。そのようなご苦勞の陰でまだ手が届かないところですか、地域特性って何だろうかといった観点にこれから目を向けていく必要があるのではないかという意見がありました。特に、防災のテーマを考えると、例えばこの公民館自体が防災の避難所の観点では、川が近くにあるという関係から、3番目の等級に位置付けられているので、すぐに避難所になるわけではないんですね。でもそういった特性があるからこそ逆の防災の観点とかを考えることもできるのではないかというお話、また、先ほど三枝さんの話に「担い手の不足」というのが出ていたんですけども、「何の」担い手の不足があるのか、それによってだぶん、公民館のアプローチの仕方も考えられる幅が出てくるのではないか、例えば、祭りの担い手なのか、自治会の担い手なのか、あるいは別の担い手なのか。そういった形での担い手というキーワードも地域の課題として考えられるのではないかという話も出てきました。あとですね、そういった状況がある中で、自治会へのアクションや市との子育ての連携の姿、これは周西公民館は大変努力していて、そういった点は非常に評価できるのではないかという意見も出ていました。まとめませんが、「公民館」が抱えるテーマともう1点、公民館のある「地域」が抱えるテーマ、この2つをもう少し整理して考えてみてはどうかという点で話が進みました。以上です。

河野委員長

ありがとうございます。3つの分散会からのご意見振り返りましたけれども、ただ今の報告に対し

て、周西公民館からご意見、ご感想などありましたらよろしくお願ひします。

笹本副館長

委員の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。周西公民館では、高齢者から子どもに向けた事業を色々を行っているわけなんですけれども、普段事業を行っている中ではなかなか気付かない点を数多くご意見頂きまして本当に感謝しております。例えば自治会とのつながりとか、それから周西公民館は人見地区にあるんですけれども、地区の中では立地が偏っていると言っても、市全体を見れば立地がよくないとは言えないと、そういったところなども積極的に課題と今後やっていくことを整理して公民館のさらなる発展に努めていきたいと思ひます。本日はどうもありがとうございました。

河野委員長

どうもありがとうございました。では委員の皆さん、何か質問等ございますか。今日の内容で。何かございましたら挙手していただいて。はい、福島委員お願ひします。

福島副委員長

今、各館の事例を出されて、君津地区の公民館運営審議会の各委員の地域への思いあふれた話し合ひ、これは大変意義深いことだと思ひます。このせつかくご意見を今後の公民館の運営に生かすために、審議会全体の意見としてまとめることが大切ではないでしょうか。まとめ方につきましてはですね、答申書とか、建議書とか、提言書などが考えられると思ひますが、また事務局と相談しながら決めていけばいいのではないかとと思ひます。まとめる作業につきましては、早めにとりかかった方がよいと思ひますが、全員で集まるのは非常に難しいかと思ひますので、有志での作業チームを作りまして、自主的な学習会などを行い、手弁当という形になるかと思ひますけれども、そちらで作業を進めて、全体での会議で確認しながら、最終的には審議会全体でまとめる、というやり方をしたらどうかと思ひます。もう1点ですね、地域活性化の意見は素晴らしいと思ひるものばかりですが、すべてを公民館が行うというのは非常に難しいと思ひます。公民館運営審議会として、公民館で実現すべきものや、深くかかわることが望ましいものといった整理が必要かと思ひます。そのために、この審議会として考える地域活性化が少し整理出来たらいいかなと思ひますがいかがでしょうか。ご検討をよろしくお願ひいたします。

河野委員長

ありがとうございます。今福島委員からご提案というかご意見を頂きましたが、事務局としてはいかがでしょうか。よろしくお願ひします。

新井副館長

ありがとうございます。今のお話で言うと、まさに私も先ほど第2グループの話し合ひに参加して、皆さん非常に公民館側が提起した問題点についてしっかりと受け止めて頂いて、それに対してこうしたことがあるのではないかと、具体的なご意見、提案を出していただいているのを聞いて、非常に参考になりましたし、周西だけの話ではなくて、我々にとっても、非常に大きなヒントになったと思ひています。元々何らか形にしたいと思ひ始めてはおりますが、形にしていくためには、福島委員にご意見いただきました通り、この3ヶ月に1回の全体の会だけでやるのではなくて、有志の

皆さんで作業グループを作って、それで揉んで、それを全体に返して、というような進め方がいいのではないか、という事でよろしいでしょうか。我々、地域活性化に資する公民館ということでやってきているんですけれども、活性化と言っても色々な意味があって、あれもこれもというわけにはいかない、という部分もありますし、何をもちって活性化するか、公民館として公運審としてどう捉えるかという事もあると思います。まずそこのところをはっきりと、一定の部分を決めて、それを揉んでいく、というような形のご提案を頂いたかと思えます。事務局としては有意義で貴重なご意見をいただきましたので、この後、各館の事務局会議をして、せっかく頂いたご意見ですので、方向性として、そんなのしないよ、ということでなければ、ぜひとも検討させていただいて、福島委員ともご相談させていただいて、委員の方、職員もどのように関わらせていくかという事もお相談させていただいて、場合によってはスタートさせていきながら、次回こういった形になりましたというのをご報告できればと思っております。ご審議のほど、お力添えお願いいたします。以上です。

河野委員長

ありがとうございます。福島委員からのご提案、そして事務局からの回答に対して他にありますでしょうか。特になければ事務局でこの先の準備を進めていっていただきたいと思います。

圓川委員

すみませんひとつだけ。たぶん福島委員のお話も含めてなんですが、私の役割になってしまっている部分もあると思いますが、デジタル化とか、そのあたりもそろそろやっぱりきちっと具体的な活動に取り入れていかないと、やはり今の回答だけでじゃあこれから本当にどう具体的に進むのか、というところが不明瞭というか。よくある適切に対処します、みたいな形にならないようにしていただきたいな、というのが、ここに我々が時間を使っている意味であり意義になると思っていますので、改めてそこもご検討いただければと思います。

河野委員長

ありがとうございます。事務局いかがですか。

新井副館長

ありがとうございます。前回は圓川委員からそうした取り組みを取り入れることによって形にしていくというやり方が必要ではないか、ということをご頂きましたので、先日の事務局会議でも、どのようにその体制を作っていこうかということを検討したのですが、それをオフィシャルに、つまり公民館がやって、公民館運営審議会とのやり取りの中でどのように、それをしっかりと形に残すものとして作っていくのか、なかなかこれでやっていきましょう、というふうに決められなかったんですけれども、先ほどの福島委員の提案に基づいて進めるという事であれば、その作業チームが顔を合わせて話し合う場面も必要ですし、場合によっては資料を事前にそれぞれ共有をして、というようなことも必要になってくるんじゃないのかな、と思っています。事務局館では相談をしているんですけれども、まずはみなさんとの情報共有であるとか、八重原公民館ではサークルへの連絡手段にアプリを利用していますので、そのようなツールの活用も検討していきたいと考えています。

布施副課長

やり取りに個人のアカウントを利用せざるを得ないので、そのあたりも圓川委員は専門家でいらっしゃるのご相談させていただければと思います。

圓川委員

どこに課題があるかを言っただけであれば前回から少し何か進んだかもしれませんが、事務局でもんでそのままになっている。原園委員もデジタルには強いと思うので。できる方法を考えるために我々も活用してほしい。

布施副課長

公民館に若者が来なくても、地域に若者が活躍できる場があればよい、とも考えられる。元気になった公民館が地域にどのように役立っているか、というところが地域活性化の指標にもなりうるのではないか。

河野委員長

委員の皆様から何かありますか。なければ事務局から連絡事項をお願いします。

新井副館長

次回第4回は3月日八重原公民館が会場。次回までの間に作業チームができれば一定の協議を行っていきたいと思います。その他の予定としては令和6年1月26日に千葉県公民館研究大会が実施予定です。運営に参画している職員から紹介します。

矢代主任主事

君津四市が担当で準備を進めている。アフターコロナに求められる公民館活動をテーマに実施。まだ参加について回答いただいていない方は明後日までの回答になります。帰りがけにお知らせください。

新井副館長

こちらからのお知らせは以上です。

平野館長

清和公民館ですが、1月に開館記念式典を実施予定です。式典は委員長のみご招待させていただきます。清和地区文化祭と併せて実施ということです。

河野委員長

これを持ちまして令和5年度第3回君津地区公民館運営審議会を終了します。ありがとうございました。